



日本の“宝島”あまくさ

ほんど

まちづくり協議会だより

日本の宝島“天草”を伝えていくために

新型コロナウイルスの感染拡大も、一時期のような勢いは衰えたように思われますが、まだまだ収束には程遠い状況にあります。皆様におかれましても、長い間活動の縮小や停止が続きご苦労されておられることと思います。

さて、以前に訪問した島根県隠岐郡の海士町では、「ないものはない」というキャッチフレーズを掲げ、地域のPRに取り組まれています。無いものを欲しがらるのではなく、島にあるものを、島に移住された方達と一緒に発信されています。地域創生の成功事例として全国でも注目されていますが、これを「成功事例」ではなく「挑戦事例」と呼び、挑戦はまだ継続中であるという強い意識を持って活動されています。

今から半世紀以上前に、天草地域の振興に命を懸けた一人の政治家がおられました。龍ヶ岳町の初代町長を務められた森國久氏です。森氏は、地元である龍ヶ岳町の首長として先進的な施策を実行に移したのみならず、天草諸島全体の生活基盤整備や地域振興に貢献され、とりわけその実現のために尽力されたのが天草架橋運動と、天草地域の離島振興法適用への働きかけでした。

(詳しくは「地方創生に駆けた男」編著：森純子・段下文男)

その森氏は次のように語っておられます。

「離島振興法の適用を受けたのだから…と、座して手をこまねいて「振興待つ者あり」とする考えがもし島民の間にあるならば、法の指定で郷土発展100年の計を毒すること夥しい。意欲の基礎の上に立って手を引き、腰を押し上げてこそ、やがて道は拓け、花は咲き、実も結ぶであります。」

天草は一つ。天草市特別市政構想を断行すべき。産業・文化・交通・観光が一本になったとき、はじめて強力な施策が可能になる。天草の人々はこれくらいの決意と構想をいだかない限り、昔の天領時代から培われた事大主義、消極性を一掃することはできない。また、自らの郷土を自ら振興させる逞しい意欲を持って。」

幾重にも重なる課題を抱えている天草、今を生きる私達に語りかけているような気がします。次世代の人々に、日本の宝島“天草”を伝えていくためにも、当協議会の本来の活動をとおして、地域の発展に貢献していきたいと考えておりますので、ご指導ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

(事大主義：自分の意見がなく、ただ勢力の強いものにつき従うという考え方)



本渡まちづくり協議会
会長 中川竹治

Vol. 28

令和4(2022)年4月1日号

目次

- 会長あいさつ……………P1
- 令和3年度事業実績報告……………P2~4
- 本渡まちづくり協議会委員募集……………P3
- ふるさと応援寄附金のお礼……………P5
- 各地区の話題……………P6~7
- 天草拓心高校SBP部の紹介など……………P8

ほんどのいま

令和4年3月1日現在
(令和3.9.1との比較)

【本渡南】	男……………3,783人(0)
女……………4,318人(- 34)	計……………8,101人(- 34)
世帯数……………3,766(- 12)	高齢化率……………33.7%
【本渡北】	男……………5,489人(- 20)
女……………6,017人(- 16)	計……………11,506人(- 36)
世帯数……………5,157(- 11)	高齢化率……………24.4%
【亀場】	男……………2,102人(+ 12)
女……………2,359人(+ 19)	計……………4,461人(+ 31)
世帯数……………1,878(+ 16)	高齢化率……………25.6%
【柵宇土】	男……………284人(+ 2)
女……………290人(- 7)	計……………574人(- 5)
世帯数……………263(0)	高齢化率……………50.5%
【志柿】	男……………1,203人(- 20)
女……………1,419人(- 3)	計……………2,622人(- 23)
世帯数……………1,194(- 7)	高齢化率……………38.1%
【下浦】	男……………785人(- 3)
女……………891人(- 6)	計……………1,676人(- 9)
世帯数……………752(- 10)	高齢化率……………46.1%
【楠浦】	男……………1,114人(+ 11)
女……………1,206人(- 4)	計……………2,320人(+ 7)
世帯数……………1,003(+ 6)	高齢化率……………39.4%
【本町】	男……………796人(- 12)
女……………822人(- 15)	計……………1,618人(- 27)
世帯数……………823(- 6)	高齢化率……………42.6%
【佐伊津】	男……………1,488人(- 12)
女……………1,628人(- 4)	計……………3,116人(- 16)
世帯数……………1,435(- 5)	高齢化率……………37.4%
【宮地岳】	男……………227人(+ 1)
女……………241人(- 4)	計……………468人(- 3)
世帯数……………235(- 1)	高齢化率……………54.9%
【合計】	男……………17,271人(- 41)
女……………19,191人(- 74)	計……………36,462人(-115)
世帯数……………16,506(- 30)	高齢化率……………32.3%

【編集・発行】
本渡まちづくり協議会

【事務局】
天草市 地域振興部
まちづくり支援課
〒863-8631
熊本県天草市東浜町8番1号
TEL 0969-32-6661
FAX 0969-24-2744
E-mail machidukuri@city.amakusa.lg.jp

天草拓心高校SBP部の活動紹介

せんだご汁の野菜のカット作業を行いました。

天草拓心高校 SBP 部の生徒が、食のあまくさにじさんにて、せんだご汁に使用している野菜のカット作業を行いました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、作業時間は短くなりましたが、学校生活ではできない経験をさせていただきました。また、実際の食品加工の現場を知ることができ勉強になりました。



▲野菜のカット作業のようす



▲真空パックにして送ります

防災用非常食「せんだご汁」販売します

天草拓心高校 SBP 部が、三重県の南伊勢高校と共同で開発した防災用非常食「せんだご汁」を1個700円で販売します。3月中旬から本渡まちづくり協議会事務局(市役所まちづくり支援課内)でお渡しします。遠方の方で直接受け取れない方でも、3個からお送りします。(※送料・振込手数料は購入者様のご負担となります。)



購入を希望される方は、左記に記載されている事務局までご連絡ください。なお、無くなり次第終了とさせていただきます。

内容量 190g
賞味期限 令和5年3月31日

※今回は1年の賞味期限となりますが、今後非常食として賞味期限が延ばせるよう研究を重ねます。

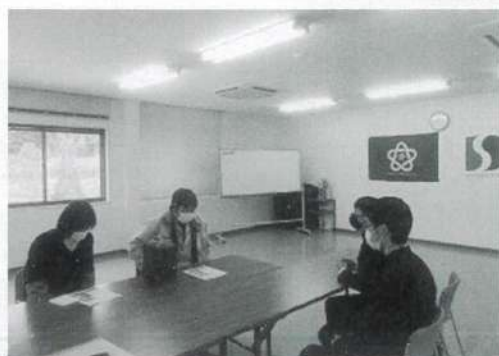
私たちの活動については、天草拓心高校ホームページ内SBPのコーナーで随時発信していきますので、ご覧ください。また、このプロジェクトには、多額の資金が必要です。ご協賛いただけると幸いです。



▲講演会の様子

まちづくりに対する意識の高揚を図るとともに、本渡地域のまちづくりの在り方を見

まちづくり講演会



▲非常食購入を検討されている団体へPRする様子



▲講演後の意見交換

※令和3年度 事業実績一覧は次ページのとおり

出すことを目的とした講演会を、11月21日に開催しました。天草市役所の若手職員及び本渡地域の各地区振興会より参加者を募り、講師として「一般社団法人未来の大人応援プロジェクト」代表理事の岸川政之氏に登壇いただき、全国各地で展開する高校生達のSBP活動の紹介をおし、参加者による意見交換が行われました。参加者から「地域課題の解決や今後のまちづくりに対する心構えなどについて考える良い機会になった」等の感想が聞かれました。

本渡まちづくり協議会の委員を募集します

本渡まちづくり協議会は、本渡地域内の各地区振興会の代表者、公共的団体等の代表者や公募委員など20人の委員で組織されており、まちづくりに係る提案やまちづくり事業の企画・立案・実施をはじめ、住民主体のまちづくりを推進する役割を担うものです。

本年6月末の任期満了に伴いまして、以下のとおり協議会の委員を募集いたしますので、まちづくりに対する熱い思いをお持ちの方のご応募をお待ちしております。

※応募者多数の場合は、本渡まちづくり協議会で選考を行います。

【募集定員】 2名程度（任期2年）

【応募資格】 旧本渡市内に住所を有する人

【応募期限】 令和4年4月27日（水）必着

【応募方法】 住所、氏名、年齢、職業、連絡先、応募動機をご記入のうえ、以下までご郵送またはご持参ください（応募用紙は任意）。

〒863-8631 天草市東浜町8番1号
天草市まちづくり支援課内
本渡まちづくり協議会事務局
Tel 32-6661



令和3年度 事業実績報告

本渡まちづくり協議会では、「まちづくりは、人づくり」をテーマに、地域を担う人材の育成や地域の活性化に向けて、「未来の大人応援プロジェクト（SBP）事業」などを実施しました。

「協議会だより発行」事業

【1回目】 令和3年10月1日号（Vol.27）発行
【2回目】 令和4年4月1日号（Vol.28）発行
【配布】 本渡地域の全世帯

「協議会だより発行」事業は、本協議会の活動や各地区のまちづくりに関する様々な情報を広く発信することを目的として、年2回本渡地域の全世帯へ広報紙の配布を行う事業です。

多くの地域住民の皆さんのまちづくり活動に対する理解や、まちづくり活動への積極的な参画に向けて啓発を行っています。

未来の大人応援プロジェクト（SBP）

平成30年3月13日に開催した講演をきっかけに、令和元年度から本渡まちづくり協議会と天草拓心高校が連携・協働して実施している事業です。



▲9月17日市長報告



▲10月17日あまりん焼き販売

今年度も昨年度に引き続き、オリジナルたい焼き（あまりん焼き）と防災非常食の開発に関するプロジェクトを推進しました。

あまりん焼きについては、昨年度はコロナ禍で販売する機会がありませんでしたが、今年度は毎月第3日曜日に銀天街で開催されている「まちのみんなの遊園地」で販売させていただきました。あまりん焼きの本身は、天草町の永田冷蔵さんのあんこと、アイスを使用させていただき、地元産にこだわりました。実際にあまりん焼きを販売してみると、焼き始めるまでに時間がかりお客さんを待たせてしまうこともありましたが、「形がかわいい」と多くの方に喜んでもらうことができました。

今後は今までの反省点を踏まえ、スムーズに販売できるように工夫し、天草市内の様々なイベントに出店して多くの方にあまりん焼きを食べていただくことを考えています。

防災非常食については、昨年度開発したせんだご汁を用いた非常食の大量製造・販売に取り組みしました。学校での製造は限界があるため、野菜のカットを有明の食のあまぐさに皆さんに、レトルトの製造を福岡の(有)職彩工房に皆さんに依頼しました。また、せんだご汁に使用した野菜は本渡五和農業協同組合さんに仕入れをお願いし、一部、天草拓心高校で収穫した野菜を使用しました。食のあまぐさに皆さんでは、生徒たちも一緒に野菜のカット作業をさせていただき、食品加工の現場を知ることができました。大量製造するうえで、高温・高圧処理をするため、だごに含まれるでんぷんの特性上だごが汁に溶けてしまうという課題がありました。生徒たちで検討を重ね、レトルトパックにだごが溶けてしまうことを記載することにしました。このせんだご汁は、地元企業様や各振興会等に宣伝し、約1,500個の注文をいただきました。

※SBP：Social Business Projectの略で、地域課題を「ビジネスの手法を用いて解決していく」という取り組みです。具体的には、若者（高校生）が中心となり、地元にある地域資源（人、モノ、自然、歴史、産業など）と交流し、見直し、活用して「まちづくり」や「ビジネス」を提案していく。そして、その取り組みを地域で応援し支えていくというものです。



▲12月17日講演会

※活動の詳細は、最終面にも掲載

善意の寄附ありがとうございました (敬称略)

〔令和3年9月～令和4年2月 本渡まちづくり協議会受領分〕

ふるさと応援寄附金として

横山 貴夫 (千葉県)	金丸 和幸 (埼玉県)	白崎 えみ (奈良県)	大塚 拓哉 (福岡県)
吉田 修郎 (栃木県)	平木 淳矢 (神奈川県)	猪原 大輔 (福岡県)	大黒谷舞姫 (東京都)
瀧内 康夫 (兵庫県)	林 正之 (千葉県)	渋谷 健人 (兵庫県)	石川 文夫 (神奈川県)
太田 美和 (石川県)	渡辺 康文 (大阪府)	鈴木 純 (山形県)	佐藤 皓一 (大阪府)
池上 雅彦 (東京都)	仁平 龍太 (栃木県)	福井 一成 (奈良県)	本山 勢二 (熊本県)
森 信暁 (愛知県)	中村 尚登 (静岡県)	朴 国仙 (神奈川県)	白石りょう (大阪府)
竹之内 剛 (鹿児島県)	本庄 雅樹 (島根県)	松本 行雄 (千葉県)	久保田邦洋 (大阪府)
和田 純一 (東京都)	森 邦雄 (千葉県)	正木 良卓 (福岡県)	森 祥造 (兵庫県)
酒井 久宗 (福岡県)	松下 功 (千葉県)	永野 圭哉 (大阪府)	島田 英周 (東京都)
生野登美子 (東京都)	ティムズ真穂 (千葉県)	金子 昌史 (東京都)	大中 春菜 (福岡県)
奥山 高起 (大阪府)	高橋 淳 (福岡県)	平尾 浩一 (千葉県)	萩原 仁美 (神奈川県)
金丸 英晃 (福岡県)	藤井 英雄 (新潟県)	橋本 雅弘 (大阪府)	芦沢 広樹 (東京都)
宮田 和彦 (愛知県)	宮崎 和幸 (兵庫県)	矢野 泉 (埼玉県)	藤野 亮 (熊本県)
大富 史郎 (東京都)	久我 徹 (大阪府)	畠 恵美 (大阪府)	森 健一 (神奈川県)
土肥 夕佳 (佐賀県)	長嶺かほり (大阪府)	鶴見 悦子 (栃木県)	茂理とも子 (広島県)
川上 林伸 (沖縄県)	福島美知恵 (東京都)	鈴木 蘭 (埼玉県)	佐藤喜久雄 (埼玉県)
浜 広一郎 (愛知県)	坂本 和広 (神奈川県)	米倉 千尋 (福岡県)	田崎 英人 (千葉県)
岩下 一樹 (茨城県)	田中 圭 (神奈川県)	長浜百合子 (東京都)	澤田 利明 (北海道)
吉永 英人 (愛知県)			

※その他、180人の方にご寄附をいただきました。

「ふるさと納税」で、天草本渡のまちづくりを応援してください。応援したいまちづくり協議会または地区振興会を指定できます。市外にお住まいのお知り合いの方がいらっしゃいましたら、ご周知くださいますようよろしくお願いいたします。

天草市ふるさと納税返礼品人気ランキングベスト3!

天草市へふるさと納税をしてくださっている方々に人気の返礼品ベスト3を紹介します。
(令和4年3月時点 ふるさとチョイス調べ)



この他にも、天草ならではの返礼品がたくさんあります。

令和3年度 事業実績一覧

実施期日・期間	「事業名」(実施場所)	参加者
	事業内容	
令和3年5月21日	「未来の大人応援プロジェクト(SBP)」(天草拓心高校)	約150人
	天草拓心高校1年生を対象とした岸川政之氏のオンライン講演会及び天草拓心高校SBP部への授業	
令和3年5月22日	「未来の大人応援プロジェクト(SBP)」(天草工業高校)	33人
	天草工業高校2年生を対象とした岸川政之氏のオンライン講演会	
令和3年6月4日	「第1回 まちづくり協議会」会議(天草市役所)	21人
	令和2年度 事業実績・収支決算の報告・承認 令和3年度 事業計画・収支予算の審議・決定	
令和3年6月19日	「未来の大人応援プロジェクト(SBP)」(天草拓心高校)	11人
	岸川政之氏と天草拓心高校SBP部との意見交換	
令和3年7月1日	「未来の大人応援プロジェクト(SBP)」(天草市役所)	8人
	天草拓心高校SBP部が「全国高校生一億円プロジェクト」への応援メッセージを依頼するため、市長を訪問。	
令和3年8月1日、8日、22日	「未来の大人応援プロジェクト(SBP)」(天草拓心高校)	約40人
	オンライン開催の「第6回全国高校生SBP交流フェア」へ参加し、天草拓心高校SBP部の取り組みを発表、参加校との交流会を実施。	
令和3年9月17日	「未来の大人応援プロジェクト(SBP)」(天草市役所)	20人
	上記交流フェアでの文部科学大臣賞受賞を報告するため市長を訪問、関係者との意見交換を実施。	
令和3年10月1日	「Vol.27 まちづくり協議会だより発行」事業(本渡地域配布)	-
	令和3年度 事業計画・収支予算、第6回全国高校生SBP交流フェア内容紹介、天草市LINE・安全安心メールなどについて掲載	
令和3年10月17日	「未来の大人応援プロジェクト(SBP)」(中央銀天街・天草拓心高校)	20人
	天草拓心高校SBP部が「まちはみんなの遊園地 in 銀天街」にて、初めてあまりん焼きを販売の後、天草拓心高校SBP部への授業を実施。	
令和3年11月21日	「本渡まちづくり講演会」(ここらす)	40人
	市職員及び一般市民を対象とした岸川政之氏の講演会	
令和3年11月24日	「第2回 まちづくり協議会」会議(ここらす)	18人
	委員の変更に伴う本渡まちづくり協議会規約の変更について委員を対象としたまちづくり研修の実施について	
令和3年12月17日	「未来の大人応援プロジェクト(SBP)」(天草工業高校)	159人
	天草工業高校1年生を対象とした岸川政之氏の講演会	
令和3年12月18日	「未来の大人応援プロジェクト(SBP)」(天草拓心高校)	18人
	岸川政之氏と天草拓心高校SBP部との意見交換	
令和4年3月13日	「未来の大人応援プロジェクト(SBP)」(天草拓心高校)	13人
	防災非常食の発送準備	
令和4年4月1日	「Vol.28 まちづくり協議会だより発行」事業(本渡地域配布)	-
	令和3年度 事業実績報告、ふるさと応援寄附金のお礼、各地区の話題、天草拓心高校SBP部の活動紹介などを掲載	



「花づくり教室」を開催しました！

佐伊津地区振興会 会長 原田 康秀

11月14日(日)に「花づくり教室」を開催しました。コロナ禍で恒例行事の中止が続くなか、待ちに待った行事の開催でした。

当日は、朝からあいにくの悪天候で実施が危ぶまれましたが、みんなの願いが天に届いたのか、開始時刻には雨もやみ、開催を楽しみにしていたたくさんの方で賑わいました。

花づくり教室の最後には、参加者で記念撮影をしました。作ったプランターを前に、みなさん満足そうでした。プランターは、持ち帰り、それぞれのご家庭を花で明るくしていることと思います。

佐伊津地区振興会では、合わせて、道路沿いの明瀬・崎明瀬花壇の整備も行っています。佐伊津地区を、花で囲まれた明るく・楽しい町にしていきたいと思っています。

一本松広場の整備とイルミネーション事業 本町地区振興会 会長 堀田 福男



本町地区では、この度「まちづくりチャレンジ支援交付金」を活用し、地元の有志の方々のご協力を得て、一本松跡地をリニューアルしました。令和3年11月、元々一本松があった場所にコンクリート柱を立て、煌びやかなイルミネーションで飾りつけをし、多くの方からご好評頂きました。春には鯉のぼりを泳がせたり、今後も季節の行事にこの柱を活用し、一本松広場が新たな本町のシンボルとなるよう取り組んで参ります。「笑顔の絶えない 元気で 住みやすい本町」を目指して頑張ります。

子どもお楽しみ会開催

楠浦地区振興会 会長 鬼塚 清武

楠浦地区振興会では、子ども達に様々な体験をしてもらおうと「子どもお楽しみ事業」を、毎年企画しています。

今回は、12月5日(日)に楠浦地区コミュニティセンターにて、熊本県立天草青年の家から指導員の方をお招きし、レクリエーションゲームやスポーツゲームを楽しみました。

最初は恥ずかしそうにしていた子ども達も、レクリエーションゲームを通して学年に関係なく交流をし、スポーツゲームでは子ども達の楽しそうな声が沢山聞こえてきました。笑顔いっぱい楽しい一日となり企画をして良かったと思います。

来年度も、子ども達が楽しかったと思えるようなイベントを企画し盛り上げていこうと思います。



あなたも宮地岳のかかしになってみては

宮地岳地区振興会 会長 松川 莞爾

道の駅「宮地岳かかしの里」に隠れ写真スポットがあるのをご存知ですか？

道の駅の広場に、かかしになりきれ顔出しパネルがあります。宮地岳の山々と背景を合わせてハイチーズ。自分の顔をしたかかしの出来上がり。意外と映えるスポットかも…

道の駅「宮地岳かかしの里」に足を運ばれた際は、一度かかしになりきってみては。



ふれあい見守り弁当を配布しました

本渡南地区振興会 会長 亀子 研二

本渡南地区振興会の令和3年度の新しい取り組みとして、12月7日と21日の二回に分けてこの事業を行いました。実施にあたり南地区の各区長、本渡地域婦人会のご協力のもと、80歳以上の一人世帯約175名の皆様に手作り弁当をお届けしました。本渡南小学校の4年生の「こども民生委員」全員が手紙を書いてくれ、その手紙をお配りした弁当に添えました。配布後にはコミセンにお礼の電話や手紙を頂きました。



竹灯籠づくり教室を開催しました！

本渡北地区振興会 会長 金澤 一紀

この2年間、コロナ禍でほとんどの事業ができなくなり、少人数で何か楽しめるものはないかと模索していたところ、大宮地竹灯籠組合の方々との出会い、今年度初めて竹灯籠づくり教室を開催しました。皆さんデザインするときから熱心に取り組みされており、電動ドリルを使ってじっくりと時間をかけて穴を空けていき、とても素敵な竹灯籠が出来上がりました。好評だったので今後も継続していきたいと思っています。

みんな集まれ!!「亀っ子」クリスマス会

亀場地区振興会 会長 河野 昇

12月19日(日)「亀っ子健全育成事業」で、クリスマス会を新型コロナウイルス感染症防止対策実施のうえ開催しました。今年度は亀場小学校児童を迎えて久々の催しです。紙芝居やクリスマスの歌を皆で唱和し、気分も盛り上がったところで、其々オリジナルのリース作りをしました。O×クイズをしたり、プレゼントをもらったり、久々に子どもたちの嬉しそうなお顔がみられて楽しい一日となりました。今後も地区の子どもたちとの親交も深めていけるように工夫していきたいと思っています。



各地 区 の 話 題



さるくガイド研修に行ってきました

下浦地区振興会 会長 川崎 宏

下浦さるくのガイド研修が12月に行われました。今回は、他の地域が行うガイド事業を参考にするため、鹿児島市で行われている「ぶらりまち歩き」を体験に行きました。「ぶらりまち歩き」は、13コースに分かれており、城山で西郷隆盛を偲ぶコースをガイドの方に案内していただきました。

当日、下浦町からは10名の参加があり、天候に恵まれ、絶好の散歩日和になりました。

2月に下浦さるくを開催予定でしたが、残念ながら新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止となりました。来年こそは開催して、皆様に楽しんでいただけるように努力したいと思っています。



子ども料理教室を開催

志柿地区振興会 会長 有江 浩三

例年夏休みに親子料理教室を開催していましたが、コロナ禍で中止せざるを得ない状況が続いていました。密を避け、子どもたちに喜んでもらえるよう福祉生活部会員の方々が考えて下さり、12月19日に子ども料理教室を開催することが出来ました。

メニューはパンケーキのピンチョスツリー、ローストチキン、ローストポテト、トマトとチーズのカップサラダでした。みんなで協力して作った料理をクリスマス仕様に飾り付けをして、ランチボックスに詰めて持ち帰りました。最後には「楽しかった」「家でお母さんと作ってみたいです」とうれしい感想も聞くことができ、とても楽しい料理教室となりました。

竹灯籠の灯りも輝く第7回イルミネーション！

栢宇土地区振興会 会長 平山 辰巳

栢宇土イルミネーション事業は、地区部会員協力のもと開催しております。今年度は、好評だった竹トンネルアーチや高さ3mほどの竹に文字や蝶のモチーフやハート型など色々な模様をドリルでコツコツと掘り、竹灯籠作りにも挑戦しました。多くの来場者のご感想を励みに来年度もさらに楽しんでいただけるように頑張りたいと思っています。

